

■高等学校数学から中学校へ移行した削除内容、改訂案における新規の内容について

(◎:内容、○:内容の取扱い)

<削除内容>

- 数の集合と四則計算の可能性(数学Ⅰ)
- 大小関係を不等式を用いて表すこと(数学Ⅰ)
- 有理数と無理数(用語)(数学Ⅰ)
- 二次方程式の解の公式(数学Ⅰ)
- いろいろな事象と関数(数学Ⅰ)
- 球の表面積と体積, 相似形の面積比・体積比(数学Ⅰ)
- 円周角の定理の逆(数学A)

<新規内容>

- ◎ 複素数の図表示(数学Ⅲ)【H元年】
- ◎ ド・モアブルの定理(数学Ⅲ)【H元年】
- ◎ 曲線の長さ(数学Ⅲ)【H元年】
- ◎ 図形の性質 作図(数学A)【H元年】
- ◎ 離散グラフ(数学活用)【新規】

※これらの他、内容の一部を中学校に移行するとともに、高等学校においても扱う項目もある。(例:統計とコンピュータ(数B)→資料の散らばりと代表値(中1)、データの分析(数Ⅰ))

※削除内容の( )内の科目名は、主に当該内容を扱っている現行学習指導要領における科目名である。

※新規内容の( )内の科目名は、主に当該内容を扱っている改訂案における科目名である。

※【 】内には過去の学習指導要領上での扱い(直近の学習指導要領の告示年)を記載している。その際、教科書に掲載があるものでも学習指導要領上記述が新規なものは【新規】としている。

■高等学校理科から中学校へ移行した削除内容、改訂案における新規の内容  
について

(◎:内容、○:内容の取扱い)

<削除内容>

- ◎ 電流による発熱(理科総合A)
- ◎ 仕事(理科総合A)
- ◎ イオン(理科総合A)
- ◎ 物質の状態変化とエネルギー(理科総合A)
- 電流と熱(理科総合A)
- 力と仕事(理科総合A)
- 熱量(理科総合A)
- 電力量(理科総合A)
- ◎ 生物の変遷(理科総合B)
- ◎ プレートの動き(理科総合B)
- ◎ 遺伝の規則性 (理科総合B)
- ◎ 大気と水の循環(理科総合B)
- ◎ 生態系(理科総合B)
- 褶曲、断層(理科総合B)
- 分離の法則(理科総合B)
- DNAの存在(理科総合B)
- 日本付近の大気の動きと気象の変化との関連(理科総合B)
- 無脊椎動物(理科総合B)
- 種子をつくらない植物(理科総合B)
- 食物網(理科総合B)
- 放電現象(物理Ⅰ)
- 力の合成・分解(物理Ⅰ)
- 質量と重さの違い(物理Ⅰ)
- ジュール熱(物理Ⅰ)
- 原子は電子と原子核から成り立っていること(化学Ⅰ)
- 月の表面の様子(地学Ⅰ)

※上記の他、内容の一部を中学校に移行するとともに、高等学校においても扱う項目もある。

(例:酸化と還元(化学Ⅰ)→化学変化とイオン(中3)、物質の変化(酸化と還元)(化学基礎)、  
化学反応とエネルギー(電気分解、電池)(化学)

遺伝の法則(生物Ⅰ)→遺伝の規則性と遺伝子(中3)、生殖と発生(生物)

生物の分類(生物Ⅱ)→植物の生活と種類(中1)、動物の生活と生物の変遷(中2)、生  
物の系統(生物))

※理科総合A、理科総合Bは廃止

<新規内容>

- ◎ 物理量の測定と扱い方(物理基礎)【新規】
- ◎ 物理が拓く世界(日常生活や社会との関連)(物理基礎)【H元年】
- ◎ 物理学が築く未来(物理学の発展と科学技術の進展への興味喚起)(物理)  
【新規】
- 物質を使用する量の有効性と危険性(化学基礎)【新規】
- ◎ 化学反応と光(化学)【新規】
- アモルファス(化学)【新規】
- 結合エネルギー(化学)【H元年】
- 水の電気分解の逆反応を用いた電池(化学)【新規】
- 細胞周期(生物基礎)【新規】
- 細胞骨格(生物)【新規】
- (植物体内の)光受容体(生物)【新規】
- 遺伝的多様性, 種多様性, 生態系多様性(生物)【新規】
- ドメイン(生物)【新規】
- 防災(地学基礎)【H元年】
- 海底堆積物(地学)【新規】
- 太陽暦(地学)【H元年】
- ◎ 先端科学や学際的領域に関する研究(理科課題研究)【新規】

※これらの他、これまでⅡを付した科目では項目選択であった内容を、今回必修化している。  
※削除内容の( )内の科目名は、主に当該内容を扱っている現行学習指導要領における科目名である。

※新規内容の( )内の科目名は、主に当該内容を扱っている改訂案における科目名である。

※【 】内には過去の学習指導要領上での扱い(直近の学習指導要領の告示年)を記載している。その際、教科書に掲載があるものでも学習指導要領上記述が新規なものは【新規】としている。